

第二種衛生管理者試験解答解説(平成 29 年 4 月公表)

[関係法令]

問 1 (3)

- (1) 違反していない
- (2) 違反していない
- (3) 「清掃業」の事業場では第二種「以外」の衛生管理者免許を有する者（第一種、衛生工学衛生管理他）から衛生管理者を選任しなければならない
- (4) 違反していない
- (5) 違反していない

問 2 (1)

- (1) 衛生管理者の業務に衛生推進者の指揮は入っていない
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 3 (1)

- (1) 衛生委員会の議長を除く「全委員」ではなく「半数の委員」である
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 4 (5)

- (1) 一人当たり 10 m³以上の気積が必要なので 500 m³以上が必要となる
- (2) 定期の大掃除は「6 ヶ月以内ごとに 1 回」実施する必要がある
- (3) 常時使用労働者数 50 人以上、または常時使用女性労働者 30 人以上の事業場では「男女別」に臥床できる休養室が必要である
- (4) 炊事従業員「専用」の休憩室が必要である
- (5) 違反していない

問 5 (1) (5) ※法改正により、(1) も誤り（正解）

- (1) 問題文の「1 か月当たり 100 時間を超え」の記述が誤り→「1 か月あたり 80 時間を超え」が正
- (2) 正しい
- (3) 正しい

- (4) 正しい
- (5) 面接指導を行う医師は「産業医」には限られない

問 6 (4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) ゴルフ場業の事業場においては、雇入れ時の安全衛生教育は省略できない
- (5) 正しい

問 7 (5)

- (1) 該当
- (2) 該当
- (3) 該当
- (4) 該当
- (5) 「尿検査」は省略することは出来ない

問 8 (2)

- A. 1,000
- B. 0.5

問 9 (5)

- (1) 誤り
- (2) 誤り
- (3) 誤り
- (4) 誤り
- (5) 正しい (短時間者の比例付与には該当しない)

問 10 (4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 育児時間は「請求」により与えられる
- (5) 正しい

[労働衛生]

問 11 (5)

$$\text{必要換気量 (m}^3\text{/h)} = \frac{\text{在室者全員が 1 時間に呼出する二酸化炭素量 (m}^3\text{/h)}}{\text{室内二酸化炭素基準濃度 (ppm) - 外気二酸化炭素濃度 (ppm)}} \times 1,000,000$$

問 12 (1)

- (1) 温度感覚を左右する環境要素は、気温、湿度、気流および輻射（放射）熱の「四要素」によって温熱環境が定まる
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 13 (4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 1ルクスは光度 1 カンデラの光源から「1m」離れた所で、その光の光軸に垂直な面が受ける明るさに相当する
- (5) 正しい

問 14 (5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) メンタルヘルスケアは①セルフケア、②ラインによるケア、③事業場内産業保健スタッフによるケア、④事業場外資源によるケア 四つのケアをいう

問 15 (2)

- (1) 正しい
- (2) 「経営者の意向の反映」は考慮すべき事項ではない
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 16 (3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい

- (3) 吹き込みは「約 1 秒かけて 2 回」行う
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 17 (1)

- (1) 運動性負荷心電図検査は、虚血性心疾患の発見にも有効な検査である
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 18 (3)

- (1) ノロウイルスは毒素系ではない
- (2) 中心部の温度が 75°C で 1 分以上加熱することでほとんどの細菌、ウイルスは死滅する
- (3) 正しい
- (4) 発生時期は「冬季」が多い
- (5) 嘔吐下痢などの症状が特徴である

問 19 (4)

- (1) 事業場内健康保持増進体制の整備に関することは、健康保持増進計画で定める事項に含まれる
- (2) 産業医が運動指導等の健康指導を行うのは「健康測定」の実施結果による
- (3) 健康測定は、原則として「産業医」が中心となって実施する
- (4) 正しい
- (5) 専門スタッフの確保が困難な企業では、認定されたサービス機関に委託することができる

問 20 (2)

- (1) 正しい
- (2) 水泡は破いてはいけない
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

[労働生理]

問 21 (1)

- (1) 呼吸運動は、横隔膜や肋間筋などの呼吸筋が収縮と弛緩をすることで胸腔内の圧力を変化させ、肺を受動的に伸縮させることにより行われる

- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 22 (3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 肺循環は、右心室から「肺動脈」を経て肺の毛細血管に入り「肺静脈」を通過して左心房に戻る血液の循環である
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 23 (3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 記載内容は脳の髄質ではなく「皮質」の説明である
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 24 (4)

- A. リパーゼ...脂肪（トリグリセリド）を最終的にモノグリセリドと脂肪酸に分解する
- B. ペプシン...タンパク質をペプトンにする
- C. アミラーゼ...多糖であるデンプンを主に二糖であるマルトースに変える
- D. トリプシン...タンパク質やペプトンをポリペプチドやオリゴペプチドにする

問 25 (2)

- (1) 正しい
- (2) 貧血になるとヘマトクリットの値は「低く」なる
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 26 (2)

- A. 腎小体で、糸球体からボウマン嚢に濾し出されるのは「血球」「蛋白質」以外の成分で「糖」は含まれている
- B. 正しい
- C. 尿は通常は「弱酸性」である

D. 正しい

問 27 (2)

- (1) 正しい
- (2) 眼は「水晶体」の厚さを変えることにより焦点距離を調整する
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 28 (5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 身体活動強度 (メッツ) は、身体活動の強さが「安静時」の何倍に相当するかを表す単位である

問 29 (2)

- A...ストレッサーは心身の活動を「亢進」させ、心身を「緊張」させる
- B...正しい
- C...ストレス反応は個人差が大きい
- D...正しい

問 30 (2)

- (1) 正しい
- (2) 体温が正常以上に上昇した時は、代謝を「抑制」して発熱を抑える
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい